

第28回環境地質学シンポジウム

主催：社会地質学会（旧名称：地質汚染—医療地質—社会地質学会）
共催：日本地質学会，日本鉱物科学会，日本情報地質学会，日本第四紀学会，(NPO)日本地質汚染審査機構，IUGS-IFG, Japan Chapter of IMGA(申請中)
期日：2018年12月7日(金)・8日(土)
会場：日本大学文理学部図書館3階オーバル・ホール



(最寄駅：京王線「下高井戸駅」もしくは「桜上水駅」 会場まで各駅から徒歩8分)
 地図HP <http://www.chs.nihon-u.ac.jp/access/>

参加費 (論文集込み)：社会地質学会員 6,000円 非会員 8,000円
 * 非会員で共催・協賛団体会員は非会員費用から一律1,000円引 学生 無料(論文集無し)
 ** CPDの取得が可能です

特別講演：株式会社コラボラボ 社長 横田 響子 氏
「異業種連携：小さく始めるコラボレーション」

特別セッション：「2018年北海道胆振東部地震」(両日開催)

開始時間	演題・演者	開始時間	演題・演者
12月7日(金)		12月8日(土)	
10:40	開会のあいさつ 村尾 智 社会地質学会会長	10:00	Hydrogeological Investigation on Shallow and Deep Groundwater in the Southern Gobi Desert, Mongolia Batdemberel BAYANZUL (Graduate School of Environmental Studies, Tohoku University), Isao MACHIDA, Kengo NAKAMURA, Noriaki WATANABE, and Takeshi KOMAI
地質汚染、有害地質とその対策		10:15	地質環境に基づく地下水保全法制度の検討 高嶋 洋(野田市土木部)・楡井 久
10:45	東京電力福島第一原子力発電所事故(2011)後から2018年までの首都圏における放射線量の低減 佐藤 信哉(株式会社医療地質研究所)・木村 和也・古野 邦雄・楡井 久	10:30-10:40	セッション討論
11:00	溜池と放射性物質による地質汚染の関係 木村 和也(株式会社医療地質研究所)・楡井 久・古野 邦雄・佐藤 信哉	水域における地質環境変遷と持続的利用	
11:15	有機砒素汚染水田で非汚染米の持続的収穫に成功—地質汚染科学の研究実践現場から— 楡井 久(NPO法人日本地質汚染審査機構)・海老名 邦能・海老名 光彦・海老名 弘美・緒方 剛・益子 幸代・木村 和也・布施 太郎・楡山 知代	10:40	年縞にみる環境史学の課題と展望(招待) 山田 和芳(ふじのくに地球環境史ミュージアム)
11:30	自然由来土壌汚染規制の現状 佐藤 恭一(シティニューワ法律事務所)	11:10	珪藻化石記録に基づく約5.0-1.0万年前の琵琶湖湖水位変動の復元 鈴木 勇志(早稲田大学大学院人間科学研究科)・井内 美郎・大塚 佳祐
11:45-11:55	セッション討論	11:25-11:35	セッション討論
11:55-13:00	昼食	国際協力	
大地の持続的利用と長期安定性		11:35	Human resource development programs for SDGs (ポスター紹介) Shinsaku Nakamura (Japan Space Systems), Kazuyo Hirose, Tomomi Takeda
13:00	深部地質環境における湧水を伴う割れ目の特徴とその変遷や調査手法に関する検討(招待) 石橋 正祐紀(国立研究開発法人日本原子力研究開発機構)	11:40	国際地質科学連合・地質環境研究委員会(IUGS-GEM)日本支部の活動 s 古野 邦雄(元千葉県地質環境研究室)・楡井 久・風岡 修
13:30	北海道大谷地層中にみられる注入構造とその特徴 伊藤 瑞生(日本大学文理学部)・近藤 玲介・横田 彰宏・竹内 真司	11:55-12:05	セッション討論
13:45	付加体中の断層における物質移行に関する研究 倉田 力(日本大学文理学部)・竹内 真司	12:05-13:00	昼食
14:00	放射性廃棄物地層処分事業における坑道閉塞に関する諸外国の設計手法等の動向調査 黒崎 ひろみ(清水建設(株) 土木技術本部バックエンド技術部)・沖原 光信・竹内 伸光・矢萩 良二・石塚 光・戸栗 智仁	13:00-14:00	社会地質学会総会
14:15-14:25	セッション討論	14:00-15:20	ポスターコアタイム
【特別セッション】2018年北海道胆振東部地震と地質災害(斜面崩壊)		鉱物と地質環境	
14:25	2018年北海道胆振東部地震の余震の時系列解析から推定される地殻構造 川辺 孝幸(山形大学地域教育文化学部)	15:20	ヒ素のファイトスタビリゼーション 岸本 ゆりえ(名古屋大学農学部)・竹中 千里・富岡 利恵
14:40	平成30年北海道胆振東部地震の被害状況 小荒井 衛(茨城大学理学部)・及川 輝樹	15:35	沖縄トラフ海底熱水鉱床の風化作用 初川 悠(山形大学理学部)・中島 和夫・村尾 智
14:55	2018年北海道胆振東部地震での斜面崩壊:地震動との関係から 2018年北海道胆振東部地震環境地質調査団	15:50-16:00	セッション討論
15:10	2018年北海道胆振東部地震で発生した厚真町の斜面崩壊機構について 高嶋 洋(野田市土木部)・風岡 修・田村 嘉之	零細及び小規模金採掘(ASGM)と医療地質	
15:25-15:35	セッション討論	16:00	水晶振動子による小規模金採掘現場での水銀測定(ポスター紹介) 野田 和俊(産業技術総合研究所)・丸本 幸治・富安 卓滋・児玉 谷仁・駒井 武・中村 謙吾・丸本 倍美・愛澤 秀信
地球倫理		16:05	フィリピン、カマリネス・ノルテ州における零細及び小規模金採掘により放出された水銀の拡散挙動 安松 空良(鹿児島大学大学院理工学研究科)・児玉 谷仁・神崎 亮・lan A. NAVARRETE・竹中 千里・村尾 智・富安 卓滋
15:35	地球倫理規範の適用と地球科学者の責任 西脇 二一(奈良大学名誉教授)	16:20	新潟県佐渡島相川鉱山の江戸時代初期のアマルガム法に関して —開発途上国における金の小規模採掘に着目した— 仲川 隆夫(環境地質研究者)
16:50-16:00	セッション討論	16:35	江戸時代(1840年)に記録された新潟県佐渡島相川鉱山のじん肺 —その5: 病気と けだえに関する補遺— 仲川 隆夫(環境地質研究者)
16:00-17:00	特別講演 株式会社コラボラボ 社長 横田 響子 氏 「異業種連携：小さく始めるコラボレーション」	16:50-17:00	セッション討論
地質環境教育		地質災害(液状化-流動化)	
17:00	いかにして層序概念を教えたものか? 木村 英人(日本大学通信教育部文理学部史学専攻)	17:00	2011年東北地方太平洋沖地震時の液状化 —流動化層準:九十九里平野匠瑠市吉崎浜での調査から(ポスター紹介) 宇澤 政晃(関東建設株式会社)・楡山 知代・風岡 修・潮崎 翔一・香川 淳・荻津 達・吉田 剛
17:15	群馬県立自然史博物館をハブ施設とした地質・環境学的調査および社会教育の実践 菅原 久誠(群馬県立自然史博物館)	17:05	2011年東北地方太平洋沖地震時の液状化 —流動化現象と沖積層の影響:九十九里平野匠瑠市吉崎浜での調査から 風岡 修(千葉県地質環境研究室)・潮崎 翔一・香川 淳・荻津 達・吉田 剛
17:30-17:40	セッション討論	17:20-17:30	セッション討論
17:40-17:50	総論討論	【特別セッション】2018年北海道胆振東部地震と地質災害(液状化-流動化)	
17:50-18:10	1日目発表の講演賞・奨励賞表彰	17:30	衛星によって捉えられた平成30年北海道胆振東部地震による地表変状 小俣 雅志(株式会社バスコ 中央事業部)・三五 大輔・森 良樹・渋谷 典幸・下村 博之
水循環と地下水益管理		17:45	流動化現象の典型例 —札幌市清田区里塚— 楡井 久(NPO法人日本地質汚染審査機構)・風岡 修・高嶋 洋・川辺 孝之・田村 嘉之
09:30	観測井を用いた関東地下水益管理と近年の地下水位 古野 邦雄(元千葉県地質環境研究室)・香川 淳・八武崎 寿史・風岡 修・潮崎 翔一・楠田 隆・楡井 久	18:00	宅地造成における環境地質要素の検討と法制度的対応 本間 勝(明海大学大学院不動産学研究科)
09:45	スタンプリート地下水益における地下水モデリングの予備的事後監査 藤崎 克博(環境地質コンサルタント)	18:15-18:25	セッション討論
		18:25-18:45	総論討論
		18:45-19:15	2日目発表の講演賞・奨励賞表彰・閉会のあいさつ

* 表題・著者名は申し込み時のものです。事前の発表取り消しなどの情報は社会地質学会ホームページにてご確認ください。
 ** ポスター表記のない発表は口頭発表(持ち時間15分)です。ポスター発表は、その日のポスターコアタイムにポスターの説明と、各セッションの際に5分間スピーチがあります。
 *** 企業展示、本学会の書籍展示・注文などを予定しています。書籍は当日参加者に限り**定価の半額**にて注文いただけます。

詳細情報等はHP：<http://www.jspmug.org/> まで

その他問い合わせ先：〒261-0005 千葉県千葉市美浜区稲毛海岸3-5-1 千葉県環境研究センター 地質環境研究室気付 社会地質学会 第28回環境地質学シンポジウム担当(043-243-0261)